

令和6年3月8日

保護者の皆様

愛知県立一宮高等学校事務室

### 入学料及び授業料の減免について

愛知県では、県立高等学校に在学する方のうち経済的な理由により学資の支弁が困難な方に対して、入学料及び授業料の減免を行っています。申請を希望する在校生の保護者様は、必要書類を配付しますので、事務室までご連絡ください。

新入生の保護者様は、合格者オリエンテーション時に配布します「入学のしおり」を確認してください。入学式日に本校事務室で入学料減免申請書を配付いたします。

#### 1 対象者となる生徒

保護者等が、下記表の「減免対象者」に該当する生徒。

**高等学校等就学支援金を受給しており、既に授業料の納付を免除されている生徒は、授業料減免の対象外です。なお、就学支援金の7月分以降の申請については、6月頃を目途に案内する予定です。**

	減免対象者	減免割合
(1)	市町村民税非課税者又は均等割のみ納付している者	入学料及び 授業料の全 部
(2)	児童扶養手当の支給を受けている者（一部支給者を除く）	
(3)	納付する市町村民税の課税の基礎となる課税総所得金額等の合計から、16歳未満の扶養親族1人につき330,000円を、16歳以上19歳未満の扶養親族1人につき120,000円を控除した額が、336,000円以下の者	授業料の半額
(4)	天災その他不慮の災害により学資の支弁が困難な者	入学料及び 授業料の全 部又は半額
(5)	長期疾病、生業不振若しくは失業のためのその生計が著しく不良となり、学資の支弁が困難な者又は父母の死亡、離婚若しくは行方不明等のため学資の支弁が困難な者。その他学校長が特に減免の必要があると認める者	

※(5)については、(1)、(3)の基準相当まで生計が不良となった方が対象となります。

※離婚、死別等により保護者状況に変化があった場合は就学支援金を申請することができます。

#### 2 その他の注意事項

- (1) 授業料減免は申請し、承認された翌月から適用されます。
- (2) 減免対象者の詳細については、次面の基準一覧を御覧ください。

担 当 一宮高等学校 事務室  
電 話 0586-72-0191

## 入学料・授業料減免等基準一覧表(令和3年4月以降申請用)

減免等事由	減免等割合	証 明 書 類	所定の提出書類 (用紙は学校にあります。)	提 出 先
(1) 地方税法(昭和25年法律第226号)の規定により市町村民税を納付していない者又は市町村民税の均等割のみ納付している者	入学料及び 授業料の全部	市町村長が発行する非課税証明書若しくは課税証明書又は市町村民税徴収税額通知書 〔※ 以下の期間内において、 <u>生計状況に変化のない方</u> (例えば、転職や退職などをしていない方)に限り。ます。 ・1月～5月に申請する場合・・・前々年の1月1日以前から申請時点まで ・6月～12月に申請する場合・・・前年の1月1日以前から申請時点まで〕	入学料・授業料減免 申請書  入学料・授業料減免 申請理由書	学 校 長
(2) 児童扶養手当法(昭和36年法律第238号)の規定により児童扶養手当の支給を受けている者(一部支給者を除く。)		県知事又は市町村長(県又は市町村が設置する福祉事務所の長を含む)が発行する児童扶養手当証書		
(3) 地方税法の規定により納付する市町村民税の課税の基礎となる課税総所得金額等の合計から、16歳未満の扶養親族1人につき330,000円を、16歳以上19歳未満の扶養親族1人につき120,000円を控除した額が336,000円以下の者(減免等事由(1)の該当者を除く。)	授業料の半額	市町村長が発行する非課税証明書若しくは課税証明書又は市町村民税徴収税額通知書 〔※ 以下の期間内において、 <u>生計状況に変化のない方</u> (例えば、転職や退職などをしていない方)に限り。ます。 ・1月～5月に申請する場合・・・前々年の1月1日以前から申請時点まで ・6月～12月に申請する場合・・・前年の1月1日以前から申請時点まで〕		
(4) 天災その他不慮の災害により学資の支弁が困難な者	入学料及び	市町村長又は消防署長が発行する罹災証明書(火災の場合は、原則として全焼とします。また、減免の承認期間は、原則として災害のあった月の翌月から1年間とします。)		
(5) 長期疾病、生業不振若しくは失業のためその生計が著しく不良となり、学資の支弁が困難な者又は父母の死亡、離婚若しくは行方不明等のため学資の支弁が困難な者。その他学校長が特に減免等の必要があると認める者	授業料の全部 又は半額	(1)～(3)の書類では現在の生活困窮の程度が証明できない方は、学校へ連絡してください。調査させていただきます。		

- ※ 注意1 上記(1)から(5)の事由に該当する場合でも、授業料の減免については、就学支援金等の支給要件を満たす方については対象となりません(専攻科も原則対象とならない)。
- ※ 注意2 上記(1)から(5)の事由に該当する場合でも、生活保護受給者のうち、生業扶助における高等学校等就学費受給者は対象となりません。
- ※ 注意3 上記(1)の税額は父母の税額を合算した金額としますので、父母両方の証明書類を提出してください。
- ※ 注意4 上記(3)の課税総所得金額等の額は父母の課税総所得金額等の額を合算した金額としますので、父母両方の証明書類を提出してください。  
また、扶養親族とは、税法上の扶養親族のことであり、扶養親族の年齢は、減免の対象となる月が属する年の前年(1月から6月については前々年)の12月31日現在における年齢になります。
- ※ 注意5 上記(1)及び(3)の証明書が提出できる場合でも、前年の生計状況に変化があったときなどは、証明として不十分な場合がありますので、事前に学校事務室へ問い合わせてください。
- ※ 注意6 上記(1)及び(3)については6月に、(2)については新しい児童扶養手当証書が発行され次第、事由の継続の確認を行います。〔証明書類欄に掲げる書類(最新のもの)を提出していただきます。〕
- ※ 注意7 上記証明書類欄に掲げる書類以外にも、学校長が必要とする場合には、証明書類を提出していただきます。
- ※ 注意8 減免期間中に事由が消滅したり、生計状況に著しい変化があったりした場合には、速やかに学校事務室へ申し出てください。
- ※ 注意9 年度の途中から、上記(1)から(5)の事由に該当することになった場合も申請ができます。

様式第1 (その1) (第4関係)

入学料・授業料減免(徴収延期)申請書

令和 年 月 日

愛知県立一宮高等学校長殿

生徒

愛知県立一宮高等学校 全日制課程

科

令和 年度入学第 学年 組

住 所

氏 名

保護者(続柄 )

住 所

氏 名

別紙理由により、入学料・授業料の減免(徴収延期)について次のとおり申請します。

減免等の額	全日制	入学料 円 納付額の全部・半額 (月額 円)
	専攻科	授業料 円
	定時制	単位数 単位 入学料 円 (月額 円) 納付額の全部・半額 授業料 円
減免等の期間	通信制	単位数 単位 入学料 円 納付額の全部・半額 授業料 円
	全日制 定時制 専攻科	年 月分～ 年 月分
徴収延期の場合	通信制	減免単位数
	延期期日	年 月 日まで

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

〈記入例〉

様式第1 (その1) (第4関係)

入学科・~~授業料減免(徴収延期)~~申請書

令和6年 4月 8日

愛知県立一宮高等学校長 殿

書類提出日を記入

生徒

愛知県立一宮高等学校

全日制課程

普通科

令和6年入学第1学年 ○組

※右の下線の箇所を

記入してください。

住所 〇〇市◇◇町1-1-1

□△▽マンション〇〇号

氏名 □ □ △ △

保護者(続柄 母)

住所 〇〇市◇◇町1-1-1

□△▽マンション〇〇号

氏名 □ □ ▽▽江

別紙理由により、入学科・~~授業料~~の減免(~~徴収延期~~)について次のとおり申請します。

減免等の額	全日制	入学料	5,650 円
		納付額の全部・半額	(月額 円)
	専攻科	授業料	円
	定時制	単位数 単位	入学料
		(月額 円)	
通信制	納付額の全部・半額	授業料	円
	単位数 単位	入学料	円
減免等の期間	全日制	ここは記入不要です。	
	定時制		
	専攻科		
	通信制		
徴収延期の場合	延期期日	年 月 日まで	

## 入学料・授業料減免(徴収延期)申請理由書

全日制課程                      科                      学年                      組                      生徒名

1 家庭の状況

続柄	氏 名	年齢	職 業 又 は 学 校 名	同居・別居

※生徒本人を含む。

2 減免等を申請した理由

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

該当項目に○印をつけてください。

減免等事由の番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
該当項目に○印					

\* (4)・(5)に該当する場合は特に詳細に理由を上記に記入してください。

3 生活保護(生業扶助における高等学校等就学費)の受給の有無(該当するものに○印をつけてください。)  
 受給している    ・    受給していない

4 その他(現在兄弟等で他の公立高等学校において減免等を受けている場合又は減免等の申請  
 手続中の場合は下記に記入してください。)

立                      高等学校                      学年                      組                      生徒名

〈記入例〉

様式第2

**入学料・~~授業料~~減免(徴収延期)申請理由書**

全日制課程 普通科 1学年 ○組 生徒名 □ □ △ △

1 家庭の状況

続柄	氏 名	年齢	職 業 又 は 学 校 名	同居・別居
母	□ □ ▽▽江	4 5	○ ○ 株式会社 パート	同 居
姉	□ □ ○○子	1 7	県立△ △高等学校 △年	〃
弟	□ □ ○ 男	1 3	□□市立△△中学校 ○年	〃
本人	□ □ △ △	1 5	県立一宮高等学校 ○年	〃

※生徒本人を含む。

2 減免等を申請した理由

○三年前から母子家庭で、児童扶養手当の受給者のため。(一部支給は減免不可です。)

○経済的に苦しく、両親とも市民税は均等割のみ納付しているため。

○親の介護でパートに出られず、市民税が非課税のため。

★ここ1年で離婚・失業・転職・長期疾病等、状況が急変した方で、添付書類では  
現況確認ができない場合は、担当までご相談ください。

該当項目に○印をつけてください。

減免等事由の番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
該当項目に○印		○			

基準一覧表を確認し、記入してください。

\* (4)・(5)に該当する場合は特に詳細に理由を上記に記入してください。

3 生活保護(生業扶助における高等学校等就学費)の受給の有無(該当するものに○印をつけてください。)

受給している ・ 受給していない (どちらかを○で囲んでください。)

4 その他(現在兄弟等で他の公立高等学校において減免等を受けている場合又は減免等の申請  
手続中の場合は下記に記入してください。)

愛知県立△ △高等学校 △年 1組 生徒名 □ □ ○○子

↑該当する兄弟がいれば記入してください。